

山形県感染症発生動向調査 週報

2025年 第28週

(2025年7月7日～2025年7月13日)

2025年7月16日 発行

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)

TEL.023-627-1109

< 定点把握感染症 >

定点種別	感染症	全国			山形県			山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積(県)
		第27週	第27週	第28週	増減	第27週	第28週	増減	第27週	第28週	増減	第27週	第28週	増減	第27週	第28週	増減	第27週	第28週	増減	第1~28週		
感 急 染 性 呼 吸 器	内科・小児科 (定点医療機関数)				(38)			(7)			(10)			(4)			(6)			(11)			
	インフルエンザ	1095	1	6	Δ	1		▼		4	Δ					2	Δ					6551	
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	7615	28	37	▲	8	13	▲	12	13	▲	2	2		3	5	▲	3	4	Δ		3141	
	(定点医療機関数)				(25)			(6)			(7)			(3)			(3)			(6)			
小 児 科 定 点	RSウイルス感染症	821	34	63	Δ	10	13	Δ	9	15	▲	5	4	▼	5	13	Δ	5	18	▲		602	
	咽頭結膜熱	1580	16	17	Δ	3	3		4	1	▼	1	1		7	6	▼	1	6	Δ		362	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5565	64	59	▼	26	22	▼	11	17	▲				27	20	▼					1888	
	感染性胃腸炎	12819	141	164	▲	39	38	▼	59	70	▲	4	3	▼	18	23	Δ	21	30	▲		4026	
	水痘	934	5	11	Δ	1	1		4	7	▲								3	Δ		337	
	手足口病	1215	16	12	▼	2	2		9	6	▼	5	3	▼		1	Δ					242	
	伝染性紅斑	5474	153	144	▼	43	40	▼	40	37	▼	10	8	▼	30	24	▼	30	35	Δ		2198	
	突発性発しん	880	16	8	▼	5	2	▼	4	1	▼	1	1		4	2	▼	2	2	▲		252	
	ヘルパンギーナ	3451	17	11	▼	6	2	▼	8	4	▼	1	1		2	1	▼		3	Δ		64	
	流行性耳下腺炎	179	1	1														1	1	Δ		32	
		(定点医療機関数)				(8)			(1)			(3)			(1)			(1)			(2)		
眼 科 定 点	急性出血性結膜炎	16																				0	
	流行性角結膜炎	629	1	2	▲							1	1						1	Δ		114	
	(定点医療機関数)				(10)			(2)			(2)			(1)			(2)			(3)			
基 幹 定 点	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	16																				28	
	クラミジア肺炎	3																				0	
	マイコプラズマ肺炎	360	9	17	Δ	5	5		2		Δ	1	6	Δ	2		▼	1	4	Δ		162	
	細菌性髄膜炎	9																				2	
	無菌性髄膜炎	32		1	Δ				1		Δ												4

◎:警報レベル ○:注意報レベル

< 通信欄 >

〇トピックスでは、「百日咳」について掲載しています。

警報・注意報の基準値(参考値)

感染症	警報レベル		注意報レベル
	開始	終息	
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

令和7年第15週から、国の新しい基準が発出されるまでの間、警報・注意報の基準値については参考値として取り扱います。

- ・定点把握感染症の定点当たり報告数グラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。
- ・ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPをご覧ください。
- ・感染症のCSVデータは、衛生研究所HPからダウンロードできます。

・表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

・定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、Δ:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

< 定点把握感染症 年齢別報告数 >

種別点	感染症	年齢														合計		
		～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳			
急性呼吸器感染症定点	内科・小児科																	
	インフルエンザ								1				2		1			6
		30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～											
	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳			37
30～39歳		40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～												
1		4	3	5	6	2												
小児科定点	RSウイルス感染症	8	7	20	18	7	1	1				1						63
	咽頭結膜熱		2	11	2		1	1										17
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎				2	2	4	9	17	5	4	6	9			1		59
	感染性胃腸炎	2	7	30	15	8	14	11	19	17	16	3	20	1	1			164
	水痘	1				1		1					6					11
	手足口病		1	3	2	2	3	1										12
	伝染性紅斑		3	5	11	22	31	22	17	11	8	8	6					144
	突発性発しん		3	3			1						1					8
	ヘルパンギーナ		1	3	3	2	1							1				11
	流行性耳下腺炎						1											1

< 全数把握感染症 >

感染症	報告数					備考
	山形市	村山	最上	置賜	庄内	
腸管出血性大腸菌感染症				5	1	型別: O157 VT1VT2(3)、O157 VT2(2)、O15 VT2(1)
水痘(入院例)		1				
百日咳	15	12		4	3	追加報告 第27週(3) ワクチン接種歴: 4回(21)、3回(1)、不明(12)

< トピックス >

百日咳

第28週における百日咳の報告数は31人で第28週までの累積報告数は620人となりました。(2024年累積報告数は222人)

百日咳とは
 けいれん性の咳発作を特徴とする感染力が強い急性気道感染症です。乳児(特に新生児や乳児早期)では重症化することがあります。通常5～10日間(最大3週間程度)の潜伏期を経てかぜ症状にはじまり、次第に咳の回数が増えて程度も激しくなります。感染経路は患者の咳やくしゃみなどによる飛沫感染と接触感染です。

【予防と対策】
 百日咳ワクチンを含む5種混合ワクチンが定期接種で行われています。重症化予防の観点から、定期接種の対象(月齢)に達した乳児はすみやかに接種を受けることが重要です。特に乳児や妊婦が周辺にいる方は感染予防に注意しましょう。ワクチン接種後年数が経過した方も感染する可能性があるため、マスクの着用や咳エチケット、手洗い等の基本的な感染対策を徹底することに加え、咳が持続する場合は早めに医療機関を受診しましょう。



図 百日咳保健所別報告数(第28週現在)

【マクロライド耐性百日咳菌*の検出について】
 主に百日咳の治療はマクロライド系抗菌薬と対症療法ですが、2024年以降西日本を中心としてマクロライド系抗菌薬に耐性を示す百日咳菌の報告数が増加しています。山形県衛生研究所では、2025年6月より県内病原体定点医療機関の協力を得て、百日咳患者検体からマクロライド耐性百日咳菌の検査を実施しています。その結果、4検体のうち2検体からマクロライド耐性と考えられる菌が検出されました。
 *マクロライド耐性を示唆する遺伝子変異(23SリボソームRNA遺伝子のA2047G変異)が認められた百日咳菌

百日咳について詳しくは厚生労働省HPをご覧ください▶▶▶



【急性呼吸器感染症サーベイランス(症候群サーベイランス)】

< 定点把握感染症 >

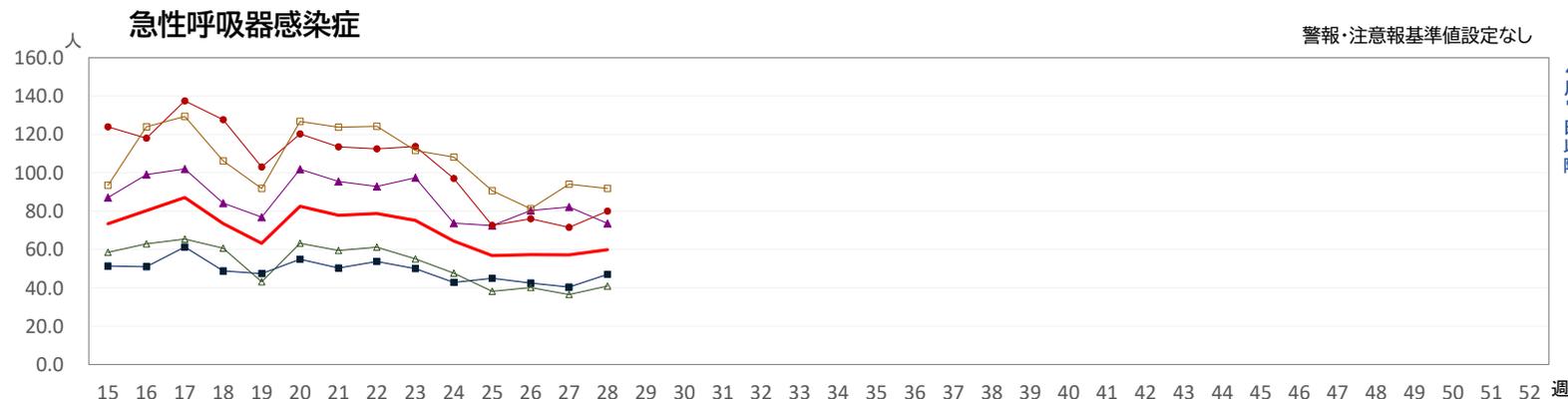
感 染 症	全国	山 形 県				山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積 (県)
	第27週	第27週	第28週	増減	第27週	第28週	増減	第27週	第28週	増減	第27週	第28週	増減	第27週	第28週	増減	第27週	第28週	増減	第15~28週	
急性呼吸器感染症定点 内科・小児科 (定点医療機関数)		(37)				(7)			(10)			(4)			(5)			(11)			
急性呼吸器感染症	203039	2173	2214	△	575	515	▽	404	470	△	286	320	△	470	459	▽	438	450	△	37377	
	52.71	57.18	59.84		82.14	73.57		40.40	47.00		71.50	80.00		94.00	91.80		36.50	40.91			

・表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数
 ・定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

< 定点把握感染症 年齢別報告数 >

感 染 症	山 形 県												
	第28週												
急性呼吸器感染症定点 内科・小児科	0歳	1~ 4歳	5~ 9歳	10~ 14歳	15~ 19歳	20~ 29歳	30~ 39歳	40~ 49歳	50~ 59歳	60~ 69歳	70~ 79歳	80歳~	合計
急性呼吸器感染症	148	968	598	214	34	28	39	48	38	42	30	27	2214

< 定点当たり報告数グラフ >



急性呼吸器感染症(ARI)
サーベイランスについて

平時より、①流行しやすい急性呼吸器感染症の発生動向の把握、②未知の呼吸器感染症が発生し増加し始めた場合に迅速に探知する体制の整備、③国内の急性呼吸器感染症の発生状況について、国民や医療関係者の皆様へ情報が共有できる体制を整備するために、急性呼吸器感染症が4月7日から五類感染症に位置づけられ、サーベイランスが始められました。

ARIサーベイランスは、**症例定義**※に一致する患者数の発生を把握する**症候群サーベイランス**です。

※咳嗽(がいそう)、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

ARIサーベイランスにおける対象感染症は、インフルエンザ、COVID-19、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、ヘルパンギーナ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に加え、新たに五類感染症に位置づけられた「(診断名のつかない)急性呼吸器感染症」となります。



詳しくは
厚生労働省HPへ▶▶▶

